

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
 情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



大きなレタスを包丁で収穫する園児ら

大きくて新鮮なレタスが採れた

■レタス狩り体験

勝間田保育園で12月18日、レタス狩り体験が行われ、園児約30人が参加しました。

これは、園児の保護者である櫻井隆光さんが所有する畑で行われたもので、参加した園児は、櫻井さんと一緒に大きな包丁を持ち、一人ずつレタスを収穫。自分の顔よりも大きなレタスを収穫した園児からは笑顔があふれました。

収穫した新鮮なレタスは、保育園の給食で食べたほか、家に持ち帰って、家族みんなで味わいました。

子どもと大人と一緒に学び交流

■梅っこビタミンフェスタ

12月13日のビタミンの日にあわせ、ビタミンB1を世界で最初に発見した鈴木梅太郎博士を顕彰する「梅っ子ビタミンフェスタ」が12月14日に地頭方小学校で開催されました。

フェスタでは、児童らによる地域のお店や福祉、防災、太鼓の仕組みなどのさまざまな研究結果が発表されました。また、親子で作る短歌「ビタミンI（愛）親守詩コンクール」の表彰や科学講座なども行われ、会場は、子どもたちと来場者が一緒に学び交流し合う場となりました。



防災をテーマにした研究結果を発表する6年児童

ウェイプールを核に地域を活性化

■株式会社ANA総合研究所と包括連携協定締結

本市とANA総合研究所は12月20日、市の観光資源の活用による沿岸部の活性化を目的とした「包括連携に関する協定」を締結しました。

同日には、民間事業者によるアジア初の本格的な競技用サーフィン・ウェイプールの建設が公表されたことから、ANA総合研究所の岡田晃代表取締役社長は「静波海岸のウェイプールを核に、国内外から多くの人に牧之原市に来てもらえるよう、地域の魅力づくりに貢献していきたい」と話しました。



協定を締結した杉本市長(左)と岡田代表取締役社長(右)



体力に合わせたコースでウォーキングを楽しむ参加者

田沼意次侯ゆかりの寺を巡る

■まきのはらビタミンウォーク2019

まきのはらビタミンウォーク2019が12月15日に行われました。

今年は、田沼意次侯生誕300年を記念して、意次侯にゆかりのある平田寺や般若寺などを巡る6キロメートルと16キロメートルの2コースが用意され、市内外から参加した約350人が、自分の体力に合わせたコースを歩きました。

参加者は、平田寺の宝物庫や、般若寺にある相良城の杉戸や陣太鼓などを見学し、市内の美しい景色を眺めながらウォーキングを楽しみました。



初めてのそば打ちに挑戦する児童

地域に残る伝統のそば打ち初体験

■そば打ち体験

勝間田小学校の6年生20人が12月5日、勝間田塾でそば打ち体験をしました。

この体験は、3月の卒業を前に思い出に残る体験をしようと初めて行われたもので、児童は講師の横山眞一さんから勝間田塾のメンバーから手ほどきを受けながら、そば打ちに挑戦しました。

体験した児童は「思ったより生地が硬くて均等に切るのが難しかった」と話しました。また、講師の横山さんは「地域に残る伝統をこういった体験を通してつないでいきたい」と話しました。

安全安心なまちづくりを推進

■榛南一市一町住民安全大会

関係機関や住民が一体となった地域ぐるみの活動により、安全安心なまちづくりを推進することを目的に、榛南一市一町住民安全大会が12月14日、相良総合センターい〜らで開催されました。

大会では、各種功労や交通安全ポスターの優秀作品などの表彰のほか、交通安全に関する講演や県警音楽隊のコンサートが行われました。

また、い〜らの駐車場では女性白バイ隊員による走行実技披露が行われ、参加者はそのスピードと華麗な走行技術に目を奪われていました。



走行実技を披露する女性白バイ隊員

いつか来る大規模災害に備えて

■地域防災訓練で医療救護訓練を実施

大規模地震の発生や建物の倒壊、大津波の襲来などを想定した地域防災訓練が12月1日、市内各地の自主防災組織を中心に実施され、1万6,411人が参加しました。

牧之原区（榛原地域）では、市や三師会、看護協会のほか、災害ボランティア、中学生、区民などが参加する大規模な医療救護訓練を実施。救護所に来たけが人に対して実際にトリアージを行い、緑、黄、赤のエリアごとに患者の処置や搬送、情報伝達などの方法を確認しました。



運ばれてきた患者役の市民の処置をする医療救護チーム



寄贈された本を手にする児童とさがら子生れ温泉会館の皆さん

未来を担う子どもたちへプレゼント

■さがら子生れ温泉会館が本26冊を寄贈

さがら子生れ温泉会館が12月2日、菅山小学校に児童書など26冊を寄贈しました。

寄贈式では、さがら子生れ温泉会館を運営する株式会社高柳製茶の高柳敬将社長が「いっぱい本を読んで、たくさんのお話を聞いてください」とあいさつ。図書委員長の市川聖奈さんに本を手渡しました。

本を受け取った市川さんは「たくさんのお話をありがとうございます。大切に読みます」と笑顔で感謝しました。